

第1回JET地域国際化塾の開催概要

(1) JETプログラムの課題

- 近年は約4,000人／年が日本各地の自治体で活躍:うち、ALT(外国語指導助手)が9割、CIR(国際交流員)が1割弱
- 実際の活動は、学校内の英語指導や自治体の国際化事務に限定されている例が多い
→ JET青年と地域社会との関わりをバックアップする必要

(2) 事業の目的

- JET青年と自治体・地域おこし関係者との出会いと交流の場である「JET地域国際化塾」を開催
JET青年:赴任地の国際化に一層貢献 + より強い「日本のサポーター」へ
自治体・地域おこし関係者:JET青年を通じて、グローバルな視点を持った地域活性化を学ぶ

(3) 事業の概要

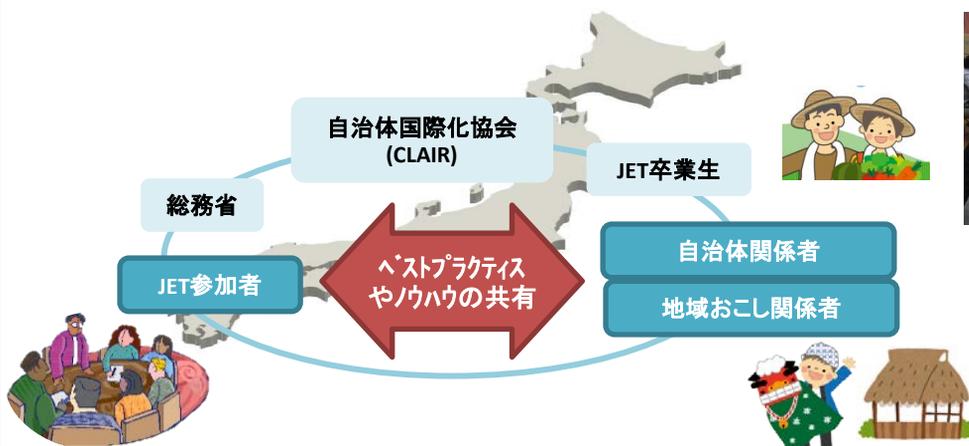
- 平成27年10月7日(水)～10月9日(金)に石川県で開催した。
- 参加者:約80名
 - ・JETプログラム参加者(開催県中心、他ブロックの代表・JET-OBも参加)
 - ・自治体・地域おこし関係者

【実施内容】

- JET青年と地域おこし関係者とのワークショップ
(ベストプラクティスや日本の地域おこしの手法の共有)
- 具体的な事例の視察・体験
 - ・地域コミュニティを支援する活動に取り組むNPO法人
 - ・伝統を引継ぎつつ、時代に合わせた売りこみを行う酒蔵
 - ・伝統工芸である輪島塗の工房
- 参加したJET青年による成果発表



参加したJET青年が赴任地の地域国際化活動に積極的に参画することを期待
(全国のJET参加者ネットワークでも成果を共有)



プログラム

1日目

○基調講演

北陸先端科学技術大学院大学 白肌 邦生 准教授
『サービス発想の地域おこし活動』

○分科会

『新しい地域コミュニティ支援』
『食・観光振興による地域おこし活動への参加』



2日目

○現地視察(分科会のテーマに合わせた加賀方面1コース、能登方面2コース)

・コミュニティ支援現地視察(加賀コース)

兼六園・金沢城公園視察
NPO法人活動内容視察
九谷焼絵付け体験 など



・「観光」による地域おこし(能登コース①)

兼六園・金沢城公園視察
輪島塗工房視察・輪島塗体験
農家民宿視察 など



・「食」による地域おこし(能登コース②)

兼六園・金沢城公園視察
塩田村、酒蔵、農園視察
農家民宿視察 など

3日目

(1) 参加した外国青年による成果発表

- ・グループワークではKJ法を活用
- ・地域おこしに実際に参加して感じたことを発表

(2) 閉会式

トータルコーディネーターである谷口健一 石川地域づくり協会
運営委員長より総括



まとめ



使用言語や説明の手法、プログラム構成、グループワークの在り方などには課題が...

★第1回目の試みを活かした今後の展開

- ・新しい視点からの研修として、更なる工夫をしたプログラム構成に！
- ・各自治体が発行している独自の研修を参考にしながら、内容の改善を！
- ・農業、ものづくり産業など多様なテーマでの展開も！